

研究課題

新学習指導要領の趣旨を実現する教育の展開 ～『学びの地図』に基づいた各教科等の単元のデザイン～

北海道教育大学附属函館中学校 研究部

本校の概要

開校	昭和22年4月1日
教員数	常勤：18名（大学教授と兼務の校長を含む） 非常勤（教科）：8名
生徒数	320名（平成29年度） （第1学年：105名、第2学年：109名、第3学年：106名） ※平成26年度入学生徒から35人学級へ移行
特色ある 取組	生徒1人に1台のタブレットPCを貸与 ※自宅への持ち帰りも認める（平成25年度～） ※校内各所にアクセスポイント設置（関係者専用Wi-fi）

HP

http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_chu/

Facebook

<https://www.facebook.com/huefzhak/>



発表の構成



研究主題について

2

研究副主題について

3



4

本研究の目的及び目標・平成28年度の実施

5

研究内容

6



18

今後の研究の実施と展開

19



20

研究主題について



研究主題

「新学習指導要領の趣旨を実現する教育の展開」
(平成29年度～平成31年度)

平成33年度 次期「中学校学習指導要領」全面实施

平成28年12月21日 中央教育審議会 答申
平成29年 3月31日 新学習指導要領 告示
平成29年度 「周知・徹底」期間
平成33年度 全面实施（中学校）

「国の先端的な研究校、大学の教育実習の機関としての機能、
地域の中核となる学校としての役割」

新学習指導要領の趣旨を実現する
「新学習指導要領のモデル校」としての役割

研究副主題について



研究副主題

『学びの地図』に基づいた各教科等の単元のデザイン
(平成29年度)

『学びの地図』とは？

中教審答申（H28.12.21）・新学習指導要領（H29.3.31）

各学校は、学校教育目標等を実現するために、

- 学校として育成を目指す資質・能力を明らかにする
- そのためにふさわしい教育内容を構成する

という手続きで **教育課程** を編成する。

「学校教育を通じて子供たちが身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容などの全体像を分かりやすく見渡す」役割

中教審答申において、学習指導要領とともに「**学びの地図**」と呼ぶ。

• 教育活動の全体像を見渡せるもの

• 子供、保護者、地域、社会の関係者が活用できるもの

研究副主題について



研究副主題

『学びの地図』に基づいた各教科等の単元のデザイン
(平成29年度)

「単元のデザイン」とは？

中教審答申（H28.12.21）・新学習指導要領（H29.3.31）

単元や題材のまとめり（＝長期的な視野）の中で、子供たちが「何が出来るようになるか」を明確にしなが、学習内容と学びの過程を組み立てていく。

単元や単位時間にどのような役割を担わせるのかを明確にする。

資質・能力の育成を目指すために、
単元において学習内容や学習方法等を構成すること
＝「単元のデザイン」



本研究の目的及び目標

目的

中教審答申や新学習指導要領の趣旨を実現するための
中学校における教育の展開

目標

新学習指導要領全面実施の前年度（平成32年度）に、教育
課程編成等において参考となる「学びの地図」等の完成

平成28年度の取組

- ① 新学習指導要領の方向性に関する調査・学習会
- ② 外部講師の招聘による教育講演会
- ③ 教科ごとの取組等を議論・発信するための教科研究会

研究内容



本校が育成を目指す資質・能力の設定

「年間単元配列シート」の作成

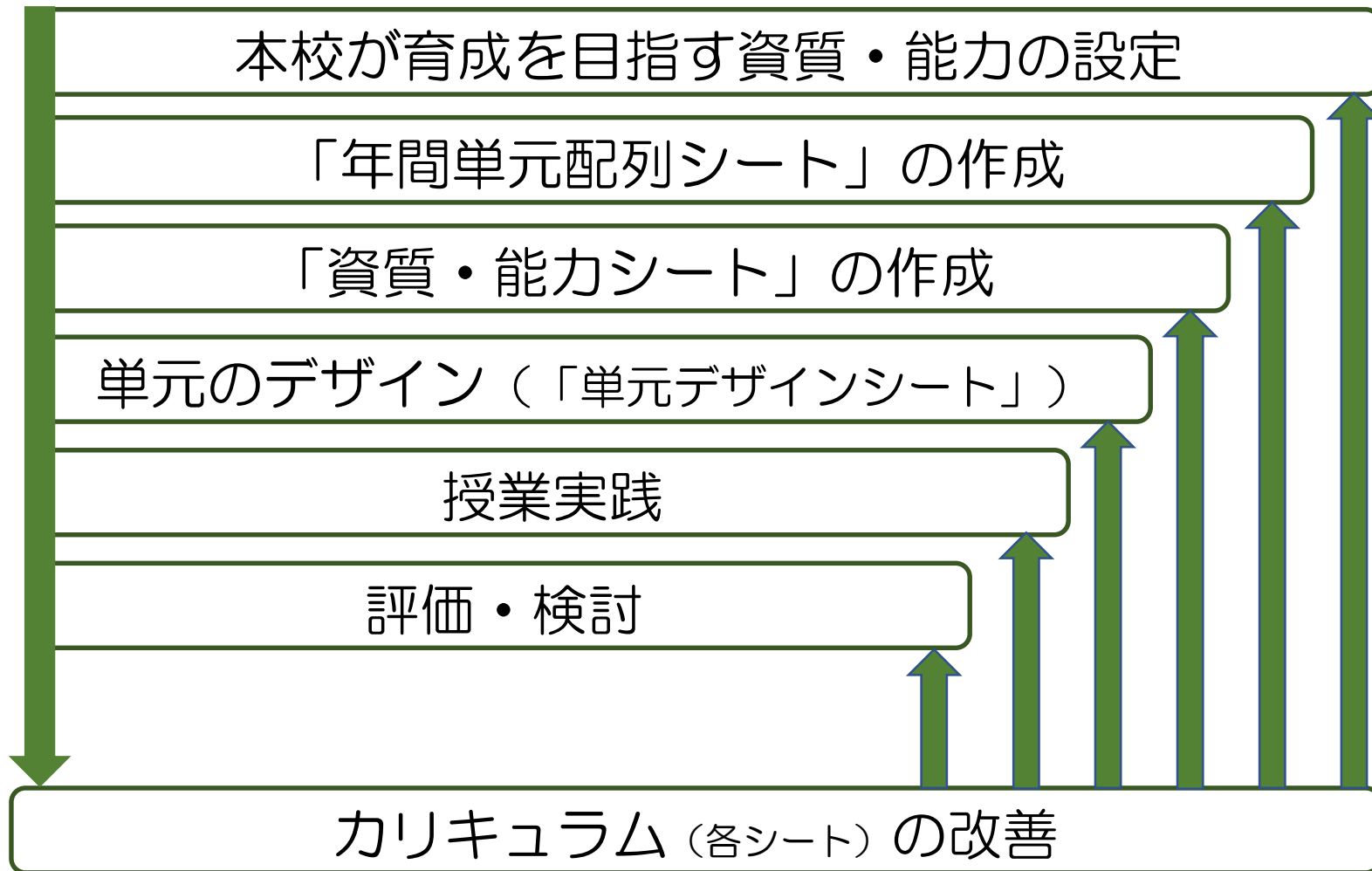
「資質・能力シート」の作成

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

授業実践

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善



研究内容



本校が育成を目指す資質・能力の設定

「年間単元配列シート」の作成

「資質・能力シート」の作成

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

授業実践

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善

研究内容



本校が育成を目指す資質・能力の設定

中教審答申（H28.12.21）・新学習指導要領（H29.3.31）

資質・能力の「三つの柱」

生きて働く「知識・技能」

未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」



研究内容

本校が育成を目指す資質・能力の設定

新学習指導要領（H29.3.31）

育成を目指す資質・能力

各教科等における指導を通して育まれる資質・能力

特定の教科等でこそ育成が目指されるべき

a) 各教科等の資質・能力

学習の基盤となる資質・能力

ICTを活用した教育に関する研究成果

附属函館小とのICT活用からの小中一貫

b) 情報活用能力

現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

18歳選挙権の実現

学校教育目標「よりよい社会の建設に協力」

c) 市民として求められる
資質・能力

研究内容



本校が育成を目指す資質・能力の設定

「年間単元配列シート」の作成

「資質・能力シート」の作成

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

授業実践

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善

研究内容



「年間単元配列シート」の作成

平成29年度 年間単元配列シート【国語科】

北海道教育大学附属函館中学校

月	第1学年					月	第2学年					月	第3学年						
	単元	教材・題材	話・問	書く	読む		言語	単元	教材・題材	話・問	書く		読む	言語	単元	教材・題材	話・問	書く	読む
4	言葉と出会う	おしぼ/声を出そう【話す聞く】想像を伝えよう【書く】記録をしよう	1	1	1		4	言葉が照らし出す	虹の足			2		4	言葉を探る	春に			1
	言葉で意味づける	音を追いかけて 漢字の広場1 漢字の部首 【書く】体験したことを文章にする			4			【話す聞く】質問する力をつける タオル	【話す聞く】質問する力をつける	1		5			【話す聞く】+言でまとめ一言から広げる 立ってくる春	1			
5		【話す聞く】お気に入りの一品を紹介する	2				5	図書館案内パンフレットを書こう	図書館案内パンフレットを書こう		3			5	私				2
	二 関係を見いだす	書写1						【話す聞く】図表を用いて提案する	【話す聞く】図表を用いて提案する	4		6		5	【書く】広告を批評する		3		4
6		笑顔という魔法			5		6	書写1	書写1					6	漢字の広場1 異音・漢音・唐音				1
		【話す聞く】フリップを用いて報告する	4					二 関係を振り返る	日本の花火の楽しみ			5		6	書写1				2
		言葉の小窓1 日本語の音声					6	【書く】新聞の投書記事を書く	【書く】新聞の投書記事を書く		5			6	二 関係を生きる	「新しい博物学」の時代			5
		文法の小窓1 言葉の単位						漢字の広場1 まちがえやすい漢字	漢字の広場1 まちがえやすい漢字			1			【話す聞く】添を聞いて自分の表現に生かす	3			
		書写2						言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉	言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉			2			漢字の広場2 熟字訓				1
7	三 世界をひらく	パンチ 本の紹介文を書こう		2	2		7	夢を遊ぶ	夢を遊ぶ			4		7	言葉の小窓1 和語・漢語・外来語				1
		写真と言葉が生み出す世界						物語を読み解く	物語を読み解く		3				無言館の青春				2
		【書く】芸術作品の鑑賞文を書く			5			文法の小窓1 活用のない自立語文法（解説）1 活用のない自立語	文法の小窓1 活用のない自立語文法（解説）1 活用のない自立語			2			【書く】				3
8	四 表現に立ち止まる	漢字の広場2 画数と活字の字体					8	インタビューをしよう	インタビューをしよう	1					情報を編集するしかけ				3
		河童と蛙						漢字の広場2 漢字の成り立ち	漢字の広場2 漢字の成り立ち			1			言葉の小窓2 慣用語・ことわざ				1
		オツベルと象						近代の短歌	近代の短歌			3			文法の小窓1 活用のない付属語				2
		【書く】行事などの案内文を書く			4			言葉の小窓1 方言と共通語	言葉の小窓1 方言と共通語			2			歴史は失われた過去か				3
9	五 古典と出会う	言葉の小窓2 日本語の文字書業（解説）2 日本語の文字					9	夏の殊列	夏の殊列			6			文化としての科学技術				5
		古典の扉をひらく						【書く】写真から物語を創作する	【書く】写真から物語を創作する		4				【書く】図表などの資料から文章を書く・				4
		物語の始まり						漢字の広場3 漢字の多義性	漢字の広場3 漢字の多義性			1			言葉の小窓3 敬語				3
		故事成語						敬盛の器期	敬盛の器期			3			文法の小窓2 活用のある付属語				3
10		書写3					10	随筆の味わい	随筆の味わい			3			旅への思い				4
								二千五百年前からのメッセージ	二千五百年前からのメッセージ			3			和歌の調べ				4

横軸に学年、縦軸に月を定め、1学年から3学年までの単元の取扱時期を整理

すべての教科等で共通の様式（当日資料27～38ページ参照）

教科等横断の手掛かりとなったり、改善の経過を把握したりできる資料

研究内容



本校が育成を目指す資質・能力の設定

「年間単元配列シート」の作成

「資質・能力シート」の作成

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

授業実践

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善

研究内容



「資質・能力シート」の作成

資質・能力シート

北海道教育大学附属函館中学校

教科名	数学	学年	2	時期	1～2
単元・題材名	確率				
この単元・題材の役割					
	各教科において育成を目指す 資質・能力	情報活用能力	市民として求められる 資質・能力		
知識・技能	・数学的な問題解決に必要な知識		・調査や調査資料から情報を効果的に調べまとめる技能		
思考	・日常の事象を数理的に捉え、数学を活用して論理的に考察する力		・現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に		

本校が設定した育成を目指す資質・能力のうち、その単元で特にどのような資質・能力の育成が実現できるのかを明らかにしたもの

すべての教科等で共通の様式（当日資料40～52ページまでの偶数ページ参照）

資質・能力の文言は中教審答申「別添資料」「別紙」を参照した

人間性等					
------	--	--	--	--	--

研究内容

本校が育成を目指す資質・能力の設定

「年間単元配列シート」の作成

「資質・能力シート」の作成

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

授業実践

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

新学習指導要領（H29.3.31）

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、**第4章総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標との関連を図るものとする。**

（第1章 総則 第2 教育課程の編成
1 各学校の教育目標と教育課程の編成）

点をつかむ（「新聞の投書記事を書く」）	整理・分析
説明から学習の流れと重点を理解し、投書記事話し合う。	課題の設定
を集める（「新聞の投書記事を書く」）	情報の収集
「日本の〇〇の魅力」を投書記事としてリライ的な情報についてグループで話し合う。	
味し、構成する（「新聞の投書記事を書く」）	整理・分析
いて吟味し、構成の型にあてはめて自分の考え	
推敲する（「新聞の投書記事を書く」）	まとめ・表現
ことをふまえて600字程度の文章を書き、構して推敲する。	

探究的な学習の視点を持ち、意図的・計画的に各教科等の単元をデザインする

探究の過程は「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」

研究内容

本校が育成を目指す資質・能力の設定

「年間単元配列シート」の作成

「資質・能力シート」の作成

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

授業実践

本日の公開授業は
研究の大きな流れの中にある。

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善

研究内容



本校が育成を目指す資質・能力の設定

「年間単元配列シート」の作成

「資質・能力シート」の作成

単元のデザイン（「単元デザインシート」）

授業実践

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善

研究内容

評価・検討

カリキュラム（各シート）の改善

単元ごとに評価を実施し、各シートの改善に取り組む。

①授業者による評価

（平成29年度）

- ・資質・能力の育成の状況を把握する評価の観点は、3つの柱による
- ・各教科の「成績」に関する評価はこれまで通り、4または5観点による（平成30年度～）
- ・3観点による評価に関する実践研究の必要

②生徒による評価

- ・「資質・能力シート」の項目について、生徒による自己評価として実施

③教科担当者による評価

- ・生徒のワークシートや作品等、参観した際の情報等に基づいて教科担当者が協議・検討を行うことで実施

今後の研究の取組と展開



平成29年度の取組

平成28年度末に第一案として整備した「年間単元配列シート」「資質・能力シート」に基づいた「単元デザインシート」による、各教科等の授業実践の蓄積、授業評価を踏まえた改善

各シートは

教科の専門性を表すためのものではない。
あくまでも、学校全体として取り組むためのツール

「作ることが目的になる」「作ってそのあとに活用されない」
ものには決してしない。

「年間単元配列シート」から「資質・能力シート」・「単元デザインシート」等にリンクする資料を電子的に整備する。

今後の研究の取組と展開



今後の取組と展望

新学習指導要領に述べられている事柄に関する実践研究の展開

- 新学習指導要領で示された各教科等の目標や内容についての整理
- 各教科等の「見方・考え方」に関する実践研究の蓄積
- 学習評価の在り方の検討
- 教科等横断的な視点での教育課程の編成
- 小学校及び高等学校などとの間の連携
- 本校研究における各シートの在り方の検討
- 本校が設定した「情報活用能力」「市民として求められる資質・能力」の再整理

本校の研究推進のために
皆様からのご意見をお願いいたします。



本研究の成果等は本校HPで公開しています。

http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_chu/